

スイニー錠 100mg

【この薬は？】

販売名	スイニー錠 100mg SUINY Tablets 100mg
一般名	アナグリプチン Anagliptin
含有量 (1錠中)	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、糖尿病用薬の中の、選択的DPP-4（ジペプチジルペプチダーゼ4）阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血糖値を調節するホルモンであるインクレチンを分解する酵素を阻害し、血糖値に応じてインスリン（血糖を下げる働き）の分泌を促進するなどして、血糖コントロールを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

2型糖尿病

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にスイニー錠に含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
- ・重いケトosis状態（悪心（吐き気）、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1型糖尿病（インスリンがごく少量しか分泌されないか、あるいは全く分泌されないタイプの糖尿病）の人
- ・重い感染症にかかっている人、手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・脳下垂体機能に異常がある人、副腎機能に異常がある人
- ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
- ・激しい筋肉運動をしている人
- ・飲酒量が多い人
- ・過去に腹部の手術をしたり、腸閉塞になったことのある人
- ・腎臓に重度の障害がある人、または透析を受けている腎不全の人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

通常1回量	1錠
最大1回量	2錠
飲む回数	1日2回（朝、夕）

腎臓に重度の障害がある人、または透析を受けている腎不全の人は、1錠を1日1回です。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れたことに気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・副作用として低血糖症状（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすいなど）があります。このような症状が認められる場合は、通常は糖質を含む食品や砂糖をとってください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）を併用している場合は、ブドウ糖をとってください。この薬を使用する前に、患者さんやご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで医師または薬剤師から説明を受けてください。
- ・スルホニルウレア剤、速効型インスリン分泌促進剤またはインスリン製剤と併用した場合、低血糖症状が起こりやすくなるため、医師の判断で、スルホニルウレア剤、速効型インスリン分泌促進剤の飲む量やインスリン製剤の使用量が減らされることがあります。低血糖症状の一つとして意識消失を起こす可能性もありますので、糖尿病用薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- ・急性膵炎（初期症状として、吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛みなど）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われます。この薬を2～3ヵ月使用しても十分に効果が得られない場合は、治療が変更される場合もあります。
- ・自動車の運転中や高所作業中などに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
腸閉塞 ちようへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
類天疱瘡 るいてんぼうそう	全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をともなうことがある、ごくまれに粘膜が癒着することがある

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん
頭部	意識の低下
顔面	血の気が引く
口や喉	吐き気、嘔吐
腹部	お腹がすく、お腹が張る、腹痛、激しい上腹部の痛み
背中	背中痛み
皮膚	お腹にあざができる、全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ（水疱）が多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をとまなうことがある
手・足	手足のふるえ
便	便やおならが出にくい
その他	ごくまれに粘膜が癒着することがある

【この薬の形は？】

販売名	スイニー錠 100mg
形状	円形の割線入りの錠剤 
直径	8.1mm
厚さ	3.4mm
重さ	155mg
色	淡黄色
識別コード	Sc312
PTP シート	

【この薬に含まれているのは？】

販売名	スイニー錠 100mg
有効成分	アナグリプチン
添加物	ヒドロキシプロピルセルロース、結晶セルロース、クロスポビドン、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：株式会社三和化学研究所 (<https://www.skk-net.com/>)
電話番号：0120-19-8130
受付時間：9時～17時（土、日、祝日、その他休業日を除く）